

有功会だより

2003－No.2

日本赤十字社新潟県支部組織振興課

～地区懇話会の開催～



長岡会場



新潟会場

今年も地区懇話会を開催し、10月20日長岡会場、22日上越会場、23日新潟会場の日程で無事に終了いたしました。

14年度の事業報告と15年度の事業計画について事務局から説明したあと意見交換となりました。ご意見は今後の有功会運営に生かしてまいりたいと考えております。

今年度の参加者数は29人(昨年46人)でした。この懇話会は会員の皆様からご意見を頂戴できる年1回の貴重な会議ですので、是非大勢の会員の皆様からご参加いただきますようお願い申し上げます。

(事務局)



上越会場

☆。.:*:・'。 ☆。.:*:・'。 ☆。.:*:・'。 ☆。.:*:・'。 ☆。.:*:・'。 ☆



赤十字ハートフル講座

新潟県日赤有功会・日赤新潟県支部共催による「赤十字ハートフル講座」を上越・中越・下越の3会場で開催し、計210名の皆様が参加されました。

今回はミカユニバーサルデザインオフィス取締役社長の長谷川美香先生をお迎えし、「ユニバーサルデザインの住まいについて」をテーマにお話をいただきました。



長谷川先生は先に朱鷺メッセで開催されました「スーパーハウジングフェア」においてスタッフの中心としてご活躍されました。今回のご講演はその結果も踏まえ、新潟にふさわしい一人一人の人間性を尊重した社会環境づくりについてわかりやすく語っていただきました。

ユニバーサルデザインとは思いやりの心を形にしていけることとも言われます。ハード整備も重要ではありますが、ソフトすなわち人、ひとり一人の行動が大切であると痛感いたしました。

🔍 ユニバーサルデザインって何??

「すべての人にとって使いやすいデザイン」。

1970年代にアメリカで生まれたデザイン思想で、体格、性別、年齢、障害の度合いなどにかかわらず、誰もが安全で快適に利用できるモノや環境を作っていこうという考え方のこと。身の回りの製品はもちろん、建物、共有スペースなどあらゆるジャンルがその対象となります。



🔍 バリアフリーとどう違うの??

障害者や高齢者が生活する上での障害、障壁を取り除いていこうとするバリアフリー。ユニバーサルデザインはこの考え方をさらに広げ、あらゆる生活者のあらゆるシーンを想定し、どんな人にとっても使い勝手がよいモノや環境作りを進めていこうというものです。

もちろん共通する部分も多く、いわば「バリアフリー ≤ ユニバーサルデザイン」という関係だと言えます。

☆。.:*:・'° ☆。.:*:・'° ☆。.:*:・'° ☆。.:*:・'° ☆。.:*:・'° ☆



～天橋立と京都散策～視察研修旅行随行記

～やはり京都はすばらしかった！！～

有功会員同士の親睦と新たな仲間づくりを目的として毎年実施しています視察研修旅行が、今年は10月14日～16日の2泊3日で行われました。行き先は日本三景天橋立と京都でありまして、誰もが一度は行ったことのある地であり参加者が少ないのではとの思いがありましたが、最終的には25名の

参加があり、やはり京都の人気の高さを再認識した次第です。

初日は新潟空港を飛び立ち伊丹空港へ。伊丹空港からは宿のある天橋立へ。傘松公園にてケーブルカーに乗り、天橋立が一望できるポイントに向かったのですがあいにくの天候、天橋立は雨にかすんでいた・・・。（記念写真をとっていたのに残念！！）「こんな天気が続くと旅行の価値が半減してしまう・・・」などという思いを引きずりながら次は宿へ向かう遊覧船へ。対岸に向けて進む遊覧船の横に続く天橋立はまた別の姿を見せてくれた。二日目、どうしても天橋立をバ



成相寺参拝

どのお守りにしようかな・・・



知恩寺はあいにくの雨

3度回ると文殊様の知恵を授かることができる

ック



見事に晴れて天橋立をバックに記念撮影

に記念写真をと、今度は昨日と違うポイント(昨日と反対側)を目指しリフトに乗って高台へ。幸い天気は晴れ、しっかりと股のぞきして写真をパチリ！(あ～良かった) その後は京都に向けて出発進行。亀岡からトロッコ列車に乗り保津川の溪谷を堪能しながら嵐山へ。やや疲れが出てきたため？早めに宿へ、なのだが、夕食後にオプションとして用意した京文化の紹介ステージに



有名な清水寺の舞台

行く人ありで、いやはや皆さんの体力に脱帽。最終日、二条城、清水寺などの定番コースを巡り帰路に就きました。

やや紅葉には早い時期であったのが残念でしたが、基本的に京都はいつ訪れても素晴らしいし、何度訪れても足りないのである。事故もなく3日間過ごせたことを感謝しつつ、さて来年はどこがいいのだろうと思案する今日このごろであります。

組織振興課 小柳記



★今年も「海外たすけあい」にご協力をお願いします★

～あなたのやさしさを～「NHK海外たすけあい」(第21回)

**海外たすけあい
義援金募集**

ご協力お願いいたします。

12/1(月)

▶ **12/25(木)**

➡ 詳細はこちら

一人ひとりの力が世界に届く

昭和58年から始まった「海外たすけあい」は今年で21回目を迎えます。これまでに皆様からお寄せいただいた義援金の総額は143億5千万円にのぼり、援助を実施した国・地域は世界各地に及んでいます。

日本赤十字社は、これからも皆様から届けられたやさしさを、援助を必要とする人々へ届けてゆきます。ご協力をお願い申し上げます。

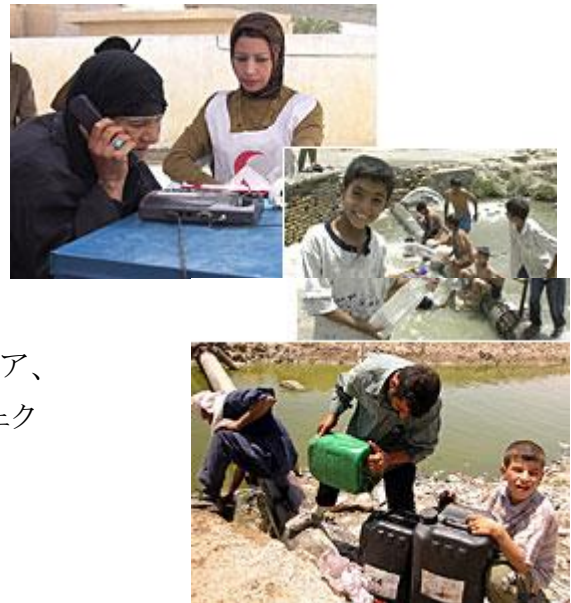
～やさしさが届きます～援助の現場から



イラク～復興への取り組み

戦争により大きな被害を受けたイラクは、混乱と疲弊の中、復興への取り組みが始まっています。

赤十字は、イラク国内の44ヶ所の診療所と1ヶ所の産婦人科病院の再建を中心に、戦争で悪化した衛生環境の改善や被災者のこころのケア、職業訓練など、24億円規模の復興支援プロジェクトに取り組んでいます。



南部アフリカ～HIV／エイズ対策



日本赤十字社は、南部アフリカ・ジンバブエ共和国における HIV／エイズ対策プロジェクトに取り組んでいます。（2003年から3カ年プロジェクト／総額7億円）

人口のほぼ3人に1人、15歳から49歳の成人で

は約200万人がエイズに感染しており、2002年

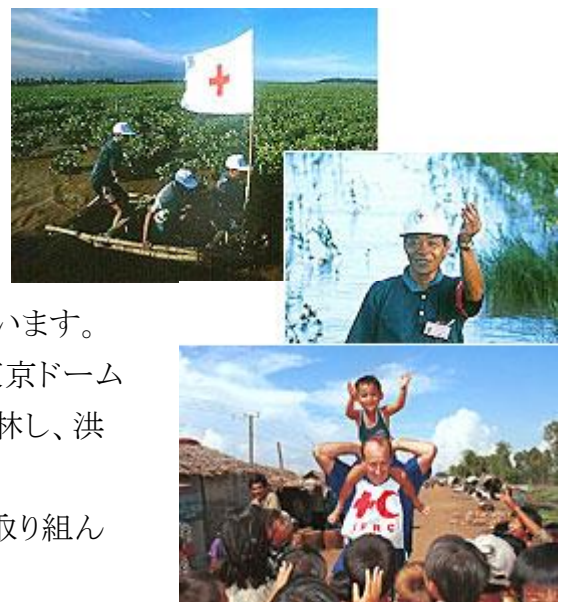
には平均寿命が42.9歳まで低下。

78万人に及ぶエイズで親を失くした子供達の生活を支えます。



ベトナム～マングローブ植林事業

南北に海岸線が続くベトナム。沿岸地方は毎年10回以上も台風による洪水で大きな被害を受けています。日本赤十字社では、これまで6,300ヘクタール（東京ドーム1,347個分）に及ぶ沿岸地域にマングローブを植林し、洪水対策や地域経済を支援してきました。2005年までに8,300ヘクタールの植林を目標に取り組ん



でいます。